

君がため 春の野に出でて 若菜摘む 我が衣手に 雪は降りつつ



あなたのために春の野に出かけて、七草(若菜)をつんでいる私のそでには、春がまだ早いので、雪が降りかかってくる。 『百人一首』15 光孝天皇

若菜摘みは古典文学にもよく描かれる代表的な正月行事でした。新年を迎えると人々は野辺に出て食用になる草を摘み、羹(あつもの=スープ)を作って長生きを祈りました。この羹のちに七草粥になったともいわれています。

2学期に借りた本の返却



返却期限 1月16日(火)まで
全て返却しないと借りれません。

1月の開館カレンダー

	月	火	水	木	金
			10	11	12
昼休み			始業式	○	○
放課後				○	○
	15	16	17	18	19
昼休み	○	○	○	○	○
放課後	○	○	—	委員会	○
	22	23	24	25	26
昼休み	○	○	○	○	○
放課後	○	○	—	○	○
	29	30	31		
昼休み	○	○	○		
放課後	○	○	—		

昼休みは 13:05~13:25 放課後は 15:35~16:10

「一行一会」未知の本を読んでみよう



一行からはじまる本との出会い

図書委員が、珠玉の一行を選んだおすすめ本を展示貸出中です。一行の言葉を頼りに中身は借りてみてからのお楽しみのシークレットブックです。貸出プラス1冊券が入っています。

今月のおすすめの本

～ 辰年 今年の干支 龍 ～

龍は、十二支の中で唯一実在しない想像上の生きもので、神話や物語では、神や災いとして善悪両方の姿をもつ幻獣として描かれています。

『ドラゴンの教科書』

ダグラス・ナイルズ/著 高尾 菜つこ/訳

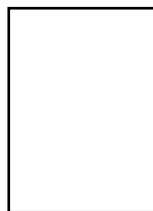
原書房 [388/な]



古代世界からアジア、ヨーロッパなど世界各地のドラゴン伝説や神話、伝承がまとめられています。文学作品のファンタジー世界やゲームに出てくるドラゴンについても紹介されています。

『あまねく神竜住まう国』

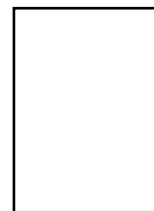
荻原 規子/作 徳間書店 [913/お]



伊豆に流された15歳の頼朝は、生きる望みを失っていた。が、大蛇との格闘、土地神である神竜と対峙することで、自らの生き方を決めていきます。『風神秘抄』続編 歴史ファンタジー。

『竜の騎士』

コルネーリア・フンケ/著 細井直子/訳



WAVE出版 [933/ふ]

竜の住む谷を人間が造るダムのために沈められてしまうことを知った竜のルングは、仲間を救うため「空の果て」と呼ばれる竜の故郷を目指し旅に出ます。伝説の生き物達の協力を得て困難を乗り越えていきます。

新しい本が入りました

他にも本があります。
貸出中のときは予約ができます。

分類	書名	著者など	出版社
総記	031 ぎ ギネス世界記録 2024 «館内利用»	クレイグ・グレンディ/編	角川アスキー総合研究所
宗教	S164 お 世界の神話	沖田 瑞穂/著	岩波書店
歴史	210 て テーマ別だから理解が深まる日本史	山岸 良二/監修	朝日新聞出版
	210 ふ 明治まるごと歴史図鑑 1～6	深光 富士男/著	河出書房新社
伝記	S289 き 北里柴三郎	海堂 尊	筑摩書房
	S289 つ 津田梅子	高橋 裕子	岩波書店
社会	304 に Newsがわかる総集編 2024 年版		毎日新聞出版
	311 こ 声をあげよう、社会は変えられる	林 大介/監修	PHP 研究所
	317 し 真実を発見!科学捜査	石澤 不二雄/監修	誠文堂新光社
	321 す ルールはそもそもなんのためにあるのか	住吉 雅美/著	筑摩書房
	334 ぼ カメラにうつらなかつた真実	エリザベス・パートリッジ/文	徳間書店
	366 な なりたい!が見つかるお仕事図鑑	朝日新聞出版/編著	朝日新聞出版
生物	457 う 羽毛恐竜完全ガイド	BIRDER 編集部/編	文一総合出版
	S461 い 増えるものたちの進化生物学	市橋 伯一/著	筑摩書房
手芸	594 あ ゆるくてかわいいはじめての刺しゅう	ありま/著	ワニブックス
産業	652 な 木が泣いている	長濱 和代/著	岩波書店
音楽	760 お 音楽 図鑑 NEO	池辺 晋一郎/監修	小学館
	762 み 君も星だよ 合唱曲《COSMOS》にこめたメッセージ	ミマス/著	音楽之友社
	763 が 楽器の音色がすぐ聴ける世界の民族楽器図鑑	民音音楽博物館/監修	河出書房新社
言語	S801 い 悪口ってなんだろう	和泉 悠/著	筑摩書房
文学	913 か 2.43 next 4years1	壁井 ユカコ/著	集英社
	913 し たとえ祈りが届かなくても君に伝えたいことがあるんだ	汐見 夏衛/著	KADOKAWA
	913 と 7.5 グラムの奇跡	砥上 裕将/著	講談社
	913 ま 零から0へ	まはら 三桃/著	ポプラ社
	933 ど わたしの心のきらめき	シャロン・M.ドレイパー/作	鈴木出版
	933 ペ クロニクル千古の闇 7	ミシェル・ペイヴァー/作	評論社
	933 く 二重の罪 <ショートセレクション>	アガサ・クリスティー/作	理論社
	933 る ミサゴのくる谷	ジル・ルイス/作	評論社

『わたしの心のきらめき』 脳性麻痺のため、言葉を話すことができず、体もほとんど動かせず車椅子でしか移動できないメロディ。両親から離れてサマーキャンプへ。そこではじめて水泳や乗馬、ジップライン、ダンスを仲間と一緒に経験します。『わたしの心のなか』の続編

『零から0へ』 太平洋戦争の後、聡一は一家を支えるために大学を辞め鉄道総局の研究所で働くことにしました。そこでは戦闘機的设计や製作に関わり、多くの命を奪う結果になってしまったことを悔いる技術者達が平和を運ぶ安全な乗り物を作りたいと夢みていました。